

四街道市公共施設再配置計画 ワークショップ（市民会議）

意見書

公共施設再配置計画に関する
ワークショップ参加者一同

令和元年9月12日

目次

はじめに	1
ワークショップ(市民会議)の進め方	2
ワークショップ(市民会議)各回の実施状況	...	3~14
第1回ワークショップ	...	3~10
第2回ワークショップ	..	11~13
第3回ワークショップ	14
意見書	..	15~23

はじめに

市は、現在、公共施設再配置計画(計画期間＝令和元年度から10年間)の作成を進めています。

この計画は、平成28年3月に策定された「四街道市公共施設等総合管理計画」に基づき、個別施設ごとの現状や必要性等を検証したうえで、今後の方向性を示す計画です。

ワークショップでは、市が作成した公共施設再配置計画の素案を基に、自身が住むまちを良くしていきたい。次世代に向けて素晴らしいまちにしていきたい。との思いから、参加者一人ひとりが真剣に考え議論してまいりました。

そして、出た意見等をこの意見書としてまとめました。

この意見書が、公共施設再配置計画の策定にとって、ひいては、今後の四街道市のまちづくりにとって役立つものになることを願っています。

ワークショップ(市民会議)の進め方

「四街道市公共施設等総合管理計画」では、今後の人口推計や財政状況を考慮し、向う50年の間に、公共施設の全体延床面積を20パーセント以上縮減することをひとつの大きな目標としているため、市全体や地域の10年後、20年後を見据え、次世代へ引き継ぐ施設は何かといった「未来志向」で考えました。

1回目、2回目のワークショップでは、必要性が高いと考える施設分類、必要性が低いと考える施設分類及び優先順位などについて議論しました。

3回目は、まとめの回として、2回目までの議論を振り返りつつ、相対的に優先順位が高いと考えられる施設分類を中心として、今後の課題を掲げたうえで、それらの課題を解決するため、あるいは施設及び機能の効率化を図るためのアイデアについて考えました。

ワークショップ(市民会議) 各回の実施状況

第1回ワークショップ

実施日時等：令和元年7月25日(木)

18時30分～20時30分

保健センター3階会議室

参加者数 : 21名

テーマ : 施設分類ごとに、施設の必要性について考え、併せて、必要性が高い・低い理由を考えました。

実施手法 : グループディスカッション

4グループで、ディスカッションを行い、意見は机上の模造紙に附箋で張り付けました。また、ワールドカフェ方式のように、一定時間(15分)でメンバーをシャッフルし、参加者全員で情報共有しました。

第1回ワークショップでの意見(抜粋)

(必要性の高い施設分類とその理由)

- 文化施設(文化センター)は、各界有名人や市民が身近に触れ合える場、成人式も含め大切な場であるため、必要と考えます。
- 公民館は、地域の人々が集まれる場所であるため、必要と考えます。
- 博物館等は、歴史資料を管理、展示する場であるため、必要と考えます。
- 図書館は、市民の娯楽施設であり、市の歴史を補完する点で、必要と考えます。
- 屋内スポーツ施設(温水プール)は、子供の遊び場や筋力維持のため、また、学校教育で活用することが可能なため、必要と考えます。
- 屋外スポーツ施設は、子供の活躍する場所のため、必要と考えます。

- 保養施設は、外国人向けに活用できる場所として、必要と考えます。
- 小学校・中学校は、教育施設として必要不可欠であり、子育て世帯を呼び込みたいのであれば、必要と考えます。
- 共同調理場は、安全な食事を公的な立場から供給するべきであり、市が責任を持ち、民間委託はすべきでないとの考えから、必要と考えます。
- 保育所は、低所得や母子、虐待等、市が担わなければいけないケースはたくさんあり、民間だけではなく市としての役割を明確にし、責任を持って運営してほしいため、必要と考えます。
- こどもルームは、子育て世帯からすると子どもを見てくれる施設のため、必要と考えます。
- 保健施設は、市民の基本的な健康を維持する機能があるため、必要と考えます。

- **福祉施設(わろうべの里)は、子どもから高齢者まで集まる、とても良い場所であり、また、ご飯も食べられて自慢のできる施設のため、必要と考えます。**
- **障害福祉施設は、障害があってもプライドを持って生きていくために、必要と考えます。**
- **児童デイサービスセンターなどの発達支援には、信頼のおける、市営の施設が必要であり、障害を持つ子の家庭が安心して住める四街道であってほしいので、必要と考えます。**
- **庁舎等(第二庁舎)は、駅や大型商業施設からも近いため、市民ギャラリーとしての機能は、残すべきと考えます。**
- **改良・市営住宅のような、低所得者、独居者が安心して住める住宅は、市営としてある方がよいため、必要と考えます。**

（必要性の低い施設分類とその理由）

- **文化施設は、何に使われているのかわからないため、必要性が低いと考えます。**
- **公民館は、特定の目的・利用者に固定されているため、必要性が低いと考えます。**
- **集会施設は、一部の住民の利用や代替えが可能、使い勝手が悪い等により、必要性が低いと考えます。**
- **博物館等は、場所が悪く、存在も認識されておらず、必要性が低いと考えます。**
- **図書館は、スマートフォンの利用者が増加し、本への関心が薄れ、図書館の利用者が減少傾向にあるため、現状では役割を変化させなければ、必要性が低いと考えます。**

- 屋内スポーツ施設は、近い所に住んでいる人は使用しているかもしれないが、歩いて行けない子どもなどは、全く使用していないため、必要性が低いと考えます。
- 屋外スポーツ施設は、機能を分散させすぎており、移動手段も少ないため、必要性が低いと考えます。また、運営は、民間業者に任せてよいと考えます。
- 保養施設は、鹿島荘の目的は終了したので、廃止はやむを得ないと考えます。
- 小学校は、学年で1クラスしかない場合、トラブル時(母も子も)に逃げ場がなくなり大変なため、統合が必要と考えます。また、各学校のプールについては、新クリーンセンターに温水プールを設置し、学校の利用を可能にすれば、廃止できると考えます。
- 中学校の工作室などの特定用途施設は、複数校で共用すれば、施設を削減可能と考えます。

- 共同調理場は、民間委託の検討が必要と考えます。
- 保育所は、民間に代替可能なため、3カ所を1カ所に統合すべきと考えます。
- こどもルームは、現状では役員等の親の負担が多いこと、指導員の不足、ニーズの把握ができていないなど、機能の検討が必要と考えます。
- 保健施設は、市庁舎にまとめることが可能と考えられるため、建物としての必要性は低いと考えます。
- 障害福祉施設は、第2福祉作業所も利用定員を下回っているため、全廃してはどうか。また、盲学校、養護学校との連携をすれば施設数を減らせると考えます。
- 市営住宅は、耐用年数と維持費のバランスを見て、逐次廃止の方向でよいと考えます。
- その他(四街道駅前公衆トイレ)は、若い人はコンビニエンスストアを使うので必要ないと考えます。

（公共施設全体としての意見）

- **建物の老朽化や必要空間の過不足、バリアフリー化が図られていない、設備が不十分など(ハードの問題)の課題があると考えます。**
- **様々な世代が施設を使えるようソフトを整え、利用方法などを情報発信し、時代にあった役割に変化させることで必要性が高まる可能性があると考えます。(ソフトの問題)**
- **分散している機能の集約化により必要性が高まる可能性があると考えます。**
- **交通アクセスが悪いため利用しづらいです。**

②第2回ワークショップ

実施日時等：令和元年8月8日(木)

18時30分～20時30分

市役所5階会議室

参加者数：20名

**テーマ：「必要性の高い施設分類」と「必要性の低い施設分類」
について、全体でシール投票を行い、必要性の優先順位
について考えました。**

**実施手法：参加者全員で、シール投票を2回行い(Vote Twice方
式)、投票結果や必要性などについて、全体討論を行
いました。**

第2回ワークショップでのシール投票結果と意見

(必要性の高い施設分類)

1位 小学校

2位 図書館

3位 保健施設

主な意見は、下記のとおりです。

- ・文化施設は、プロの演奏を聴く場として必要と考えますが、機能・施設とも、リニューアルが必要と考えます。
- ・公民館は、防災施設として活用したり、多くの人が使えるようになれば、必要と考えます。
- ・保養施設は、四街道をアピールする場として活用すれば、必要性が高まると考えます。(外国人・農業体験の場の観光の視点)
- ・小学校は、防災の拠点でもあり、地域にとって重要なため、必要と考えます。
- ・保育所は、3か所のうち1か所は公営で残すべきと考えます。
- ・市営住宅は、障害があると民間の住宅は借りにくいため必要と考えます。

（必要性の低い施設分類）

1位 保養施設

2位 市営住宅

3位 集会施設

主な意見として、下記の意見がありました。

- **文化施設は、人によっては全く使っておらず、使い勝手も悪いと考えます。**
- **保養施設は、駅からも遠く、代替も可能であり、公共性という視点では、必要性が低いと考えます。**
- **小学校は統合し、施設の管理費や教職員の人件費削減を行い、その費用で通学の「足」を確保すればよいと考えます。**
- **その他消防施設(消防資料倉庫)は、耐震基準を満たしていないため、倉庫としても問題あると考えます。**
- **公営住宅(改良・市営住宅)は、昔は住宅が少なかったが、今は住宅が余っている時代のため、行政が住宅を作る必要ないと考えます。**

③第3回ワークショップ

**実施日時等：令和元年8月28日(水)
18時30分～20時30分**

市役所5階会議室

参加者数：20名

テーマ：前回までのワークショップを振り返りつつ、公共施設の「今後の課題」と「効率化に向けたアイデア(複合化・多機能化・廃止)」について考えました。

実施手法：グループディスカッション

**4グループで、ディスカッションを行い、意見は机上の模造紙に附箋で張り付け、グループ員で議論しました。
また、班ごとの発表を行い、全体で情報共有し、全体討論を行いました。**

「意見書」

意見は、次の表のとおり、相対的に優先順位が高いと考えられる施設分類及び優先順位が低いと考えられる施設分類を中心として、今後の課題を掲げたうえで、それらの課題を解決するため、あるいは、施設及び機能の効率化を図るためのアイデア等として掲げました。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
文化施設	<ul style="list-style-type: none">・ユニバーサルデザイン化・駐車スペースの確保・文化振興を所管する部署が管理する。・ロビーを開放して自由に活用する。・大ホールは、音響効果・収容人数を高めるための大規模な改修が必要・避難所になるため、老朽化した部分の補修が必要	<ul style="list-style-type: none">・市民ギャラリーは文化センターと一緒にできるのではないか。・PR大使を設け、イベントを行う。（例えば、L I V E、F E S、B級グルメなど）・利用率の低い中小部屋を市民ギャラリーなどに変更する。・博物館を移設する。・会館棟の有効活用を図る。・文化センター、図書館、ギャラリー、資料館及び休憩所を統合する。・バリアフリー化を図る。・市のシンボルとなるような建物に、建て替える投資をした方がよい。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
<p>公民館</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活圏域のコミュニティとしては必要だが、利用者が限定されている。 ・併設の図書コーナーは、継続すべきである。 ・予約はウェブで、できるようにする。 ・当日の空き室使用を可能にする。 ・活用方法の制約の少ない、地域コミュニティセンターとして位置付ける。 ・ロビーを広く、若い人も利用しやすいようにする ・老朽化した建物は廃止する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・呼び名もコミュニティセンターへ変更。響きは大切である。 ・ウェブサイトを活用し、即日登録や問い合わせをしやすいと稼働率が上がると考える。 ・公民館、体育館で朝市みたいなことをする。 ・憩いの場となるような工夫をする。(ドリンク、おしゃべりなど) ・わろうべの里の使用方法を参考にする。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー化 ・利用率アップ ・図書館とカフェ、WiFiスポットを複合化 ・パソコンの使用ができること。 ・鷹の台にミニ図書館を作る。 ・新しい図書や本棚を増やす。 ・閉館時間が早いため、学校帰りに利用しづらい。 ・運営を指定管理にしたほうが利用時間を多く取れるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット、郵送とかで本が気軽に借りられるようにする。 ・おしゃれなコーヒーショップとかがあるとよい。 ・「受験生とか使えますよ」と案内する。 ・内装、レイアウトを明るく変更する。 ・読むスペース、勉強するスペースの拡充 ・時間延長等に対する人手にボランティアを活用 ・博物館との複合化により、地域文化を市民が学ぶ拠点にする。 ・大きな施設（文化施設等）に集約する。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
<p>保養施設</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行くのに不便 ・ 老朽化しているので廃止 ・ 古いものは転用できない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民営化し、もっときれいで使いたいと思う施設にする。（健康ランドのような） ・ ホテルとして活用する。 ・ 民間のアパートを借り受けて、宿泊・保養施設として利用する。 ・ 20%削減のためには施設の数を減らさなくてはならないので、老朽化したものは廃止、解体をして、本当に必要なところの改修費用を捻出する。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
<p>小・中学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 少子化による生徒数の減少 ・ 学区の適正化 ・ 八木原小学校と千代田中学校の合併・空き教室の利用 ・ 統合した場合の登下校の交通手段 ・ 学校プールの廃止 ・ 施設を万全の状態に保つ。 ・ 多機能化に伴って市民を校内に呼ぶなら、生徒の安全を確保する。 ・ 施設の老朽化 ・ 別の施設として使うのは面積の縮小にならない。 ・ 単学級の学校の統廃合 ・ 空き教室の利用の仕方の検討 ・ 市民もペルシャ語を学習する。 ・ 外国人も一緒にクラスとすることがよいか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き教室の多目的利用（文化活動、保育、老人センター）を図る。 ・ 社会教育の場としての利用を図る。 ・ 保育施設の場として利用を図る。 ・ 災害時の避難所となるので備蓄倉庫を設置する。 ・ 山梨小学校を公民館にする。 ・ プールの管理には費用が掛かり過ぎるので、学校のプールは廃止し、民間のスイミングスクールを利用する。 ・ 子供が減る小学校は統合によって施設、人件費が節約できる。 ・ 複合施設にして効率化を図る。 ・ 統合して空いた施設を別の施設として使う。 ・ 統合して空いた施設を利用して、利益を生めるような事業を始める。 ・ みそら小学校に統合すれば共同調理場も一緒に使える。 ・ スクールバスを使って通学の利便性を図る。 ・ 通学にヨッピーを活用する。 ・ 空き教室は、防災備蓄倉庫として使う。 ・ 国際交流協会のような団体と協力して授業を構成してみる。 ・ 外国人を一つの学校に集約させる。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
<p>保育所</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎の負担を考えると統合すべきではない。 ・民間保育所も公立と同じレベルの管理運営とする。 ・財政は厳しいが、保育を充実させる。 ・公営と私営の融合の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ・民間に任せる。 ・民間が増えるのなら公営はいらない。
<p>こども ルーム</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の空き教室を利用して、受入数を増やす。 ・ボランティアの応援を得る。 ・人気のブランコを壊してまで新しいルームを作る状況だが、ほかに良い方法はないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・中学校の空き教室を使う。 ・民間に委託する。 ・全て民間に任せるのではなく、市の主導で、できることは市でやるべき。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
保健施設	意見なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休日夜間急病診療所の診療時間を拡充する。 ・ 休日夜間急病診療所のPRを充実する。
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健施設は利用しやすいが、PRが必要 ・ 駅からのアクセス ・ わろうべの里に、他市と協力し、当市民以外の人呼び込む。 ・ インターネットによる予約を可能にする。 ・ わかりづらく、使用しにくい。また、交通の便が悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ わろうべの里は交通の便が悪いので、利用料を徴収したうえでバス等を提供する。 ・ 福祉施設へのアクセスについて、民間バス会社へ委託する。 ・ サンワークは民間に売却し、第1福祉作業所が健常者と協働で事業ができるようにする。 ・ 公民館と機能を集約する。 ・ 使う団体で福祉施設として使うか、公民館として使うかを分ける。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
<p>公営住宅</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化 ・エレベーターがないなどの機能の欠如 ・低所得者への住宅サポートの継続 ・各種障害者の利用の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> ・民営化する。 ・管理は民間委託し、維持費の削減を図る。 ・障害者等、福祉の介入が必要な方もいるので、公営として残して、市を窓口とする。 ・新たな募集を行っていない春日住宅の9戸は、優先的に他の市営住宅への移転を図り、早急に廃止し、跡地を売却する。 ・民間のアパートへ移して、収入に合わせた補助金を出す。 ・統合して空いた部屋をホテルにする。 ・お金を稼ぐ施設として活用することを検討する。

施設分類	今後の課題	効率化に向けたアイデア
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱利用のため必要（温水プール） ・ スイミングスクールの場として代用（温水プール） ・ 半額で利用できる日を作る。（温水プール） ・ 利用者と呼び込むための工夫（温水プール） ・ 高い維持コストをどうクリアしていくか。（温水プール） ・ 建物の老朽化（温水プール） ・ 利用者が少ないし、廃止を検討するほうがいい。 ・ 各部屋の一般利用を開放（安全安心ステーション） ・ 耐震診断が未実施の施設を倉庫として使用している。（消防資料倉庫） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民営化（温水プール） ・ グレードを上げ、他のプールと違うプールにして、オリンピック選手も育てられるようにする（温水プール） ・ 小学校のプールを廃止して、温水プールを利用する。（温水プール） ・ 集客に向けて講習などを増やす。（温水プール） ・ 交通の便をよくして、利用率を上げる。（温水プール） ・ 滑り台など遊びの設備を増やして集客率を上げる（温水プール） ・ 用途廃止後10年以上維持管理しているが、早急に廃止して跡地を売却する。（職員住宅） ・ 新庁舎を建設するときには、文化センター、図書館を統合する。（市役所庁舎） ・ 公民館の代わりに集会所を市役所に併設する。（市役所庁舎）